

オリジナルの「ことばあそびうた」を作って発表しよう 「じぶんのイメージをはっぴょうしよう」

指導者 勇木 純子

- 1 日時 平成 29 年 11 月 24 日（金）
 2 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級（第 1 学年 5 名 計 5 名）
 3 単元について

【児童観】

本学級は第 1 学年 5 名の自閉症・情緒障害特別支援学級である。国語科の学習では、リズムに乗って拍子をとったり動作化したりすることを楽しんでいる。しかし、語彙が少なかったり、自分の思いを言葉にして発表したり、イメージを膨らませて表現したりすることは苦手である。

これまでの学習では、5 月に「あいうえおのうた」を学習した上で、「ぼくたちのあいうえおのうた」を作り、廊下に貼ったり参観日に発表したりして表現することを楽しんだ。6 月には「ふたとぶた」を学習した上で、「ことばのへんしん」と題して、濁音・半濁音の言葉遊びを考え、リズムや言葉の面白さを味わった。また、促音・長音を使った言葉遊びでは、友達とペアで考えて作る取り組みも行った。作品にイメージの合う絵を描き添え、より楽しい「ことばあそびうた」を創ってきている。絵を描くのが好きな児童は、絵で表現することができて喜んでおり、出来た作品を廊下に掲示して交流学級の友達や先生方から褒めてもらうことで、もっと作りたいと意欲的に取り組もうとする姿が見えている。

児童の中には、自分の経験したことを思い出しながら言葉のイメージと結びつけて表現できる子もいる。しかし、経験や情報が乏しかったりイメージをもつのが苦手だったりする児童は、なかなか言葉が出て来ないため、話をしながら時間をかけて考えていく必要がある。

個々の児童の実態は、次の通りである。

児童	学習の実態
A児	<ul style="list-style-type: none"> ○聞く力があり、発表もよくする。 ○経験をもとに豊かな発想ができる。 ○五十音はほぼ覚えて書ける。忘れた文字は、ヒントをもらって思い出して書くことができる。 ○自分の言動が違っていないか不安感が強い。見通しをもたせることで活動ができる。
B児	<ul style="list-style-type: none"> ○文字を覚えて、すらすら読んだり書いたりして内容が分かる。 ○自分の好きなこと・ものについては相手の思いに関係なく、いつでもどこでも話す。 ○文を考えながら書くのは苦手だが、話をしたことを書くことはできる。
C児	<ul style="list-style-type: none"> ○文字は一文字一文字読むことができる。 ○自分から進んで発表することが少ない。 ○声かけをしながら、話し出しを知らせると話すことができる。
D児	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の経験や情報と結びつけて考えたり、進んで発表したりできる。 ○体を動かしたり話したりする。 ○落ち着かなくなると、机の下などに入りクールダウンをする。知っていることは手を挙げて発表しようとする。
E児	<ul style="list-style-type: none"> ○話をするのが好きである。 ○文字は一文字ずつ読み、丁寧に書くことができる。 ○全体の中で人の話を聞き取るのは難しい。しかし、物語を聞き、登場人物の気持ちを考えたり想像したりすることができる。

【単元観】

本単元では、学習指導要領解説国語編第1学年及び第2学年「B書くこと」(1)ア「経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集める。」オ「書いたものを読み合い、良い所を見つけて感想を伝え合う。」ことを中心に、「A話すこと・聞くこと」(1)ウ「姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話す。」オ「互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。」をねらいとしている。

単元のゴールとして、「オリジナルのことばあそびうたを作って発表しよう」という言語活動を設定した。擬声語・擬態語などの言葉を集め、そのイメージを言語化して「ことばあそびうた」を作る。そして、作った歌を友達に発表したり、友達の良い所を見つけて感想を伝え合ったりする活動を通して、書く事柄を集める力を身に付けることや、互いの表現を深め合うことを目的としている。

児童は、教科書に示されている「たべもののことばあそびうた」の例文を読み、言葉遊び歌を作るために経験から言葉を集め、自分にしか表現できない「ことばあそびうた」を作っていくことになる。児童のよく知っている「どうぶつ」「のりもの」「がっき」「おもちゃ」などを提示し、自分の興味・関心がもてる内容を中心として作らせていくようにする。その中で、イメージに合った言葉を集めるために、もののイメージを膨らませる活動を設定していきたい。また、言葉の意味の側面だけでなく、リズムや響きなど言葉の音の面白さにも気付かせていくことが大切になる。「ことばあそびうた」を作るための擬声語・擬態語を知っている情報と関連付けたり、イメージを言語化したりすることで生きて働く言葉の力になっていく。また、別のもので同じイメージをもつものを探し出したり、友達と考えを共有したりすることで語彙を豊かにさせていきたい。

また、自分の創作した「ことばあそびうた」を廊下に掲示したり給食放送で発表したりする場を設定すれば、相手意識や目的意識をもって意欲的に取り組むことにつながると考えられる。

【育てたい資質・能力】

A児	○語彙を豊かにし、話や文章の中で使える力 (知識・技能) ○経験したことから伝えたいことを決め、表現する力 (思考・判断・表現) ○自分の考えに自信をもって発表したり、自分から学習したりする態度 (主体的に学習に取り組む態度)
B児	○語彙数を増やし、はっきりした発音で話す力 (知識・技能) ○声の大きさに注意して、はっきりした発音で相手に伝える力 (思考・判断・表現) ○友達の話の聞いたり、自分から学習に参加しようとしたりする態度 (主体的に学習に取り組む態度)
C児	○語彙数を増やし、日常の会話で使える力 (知識・技能) ○自分の考えを、自分の言葉で伝える力 (思考・判断・表現) ○進んで発表したり、友達の話の聞いたりしようとする態度 (主体的に学習に取り組む態度)
D児	○友達に伝わるように意識をして話す力 (知識・技能) ○根拠を示して説明したり友達の表現の良さに気付いたりする力 (思考・判断・表現) ○見通しをもって進んで学習し、友達の話の聞こうとする態度 (主体的に学習に取り組む態度)
E児	○語彙数を増やし、伝えたいことを文にして話す力 (知識・技能) ○自分と友達の表現の違いや良さに気付く力 (思考・判断・表現) ○友達の話の聞き、進んで学習しようとする態度 (主体的に学習に取り組む態度)

【指導観】

児童	指導にあたって
A児	○授業の流れをパターン化し、見通しをもって学習が進められるようにする。 ○自信をもって書いたり発表したりできるよう肯定的な声かけをする。
B児	○見通しをもって学習に関われるように授業の流れをパターン化したり、ヒントカードや写真・実物を用意したり、触らせたりする。また、こまめに声かけをする。 ○発表する時の約束を思い出させ、友達の方に体を向けて、大きな声で発表できるようにする。
C児	○授業の流れをパターン化し、見通しをもって学習ができるようにする。写真や絵・実物を用意したり、形や音について考えさせたりする。 ○自信をもって発表できるように、そばで声かけをする。
D児	○見通しをもって自分から進んで活動ができるように、授業の流れをパターン化する。 ○友達が理解できるように、分かりやすい言葉で発表をする。
E児	○見通しをもって自ら活動ができるように、授業の流れをパターン化したり写真や絵・実物を見せたりして想像を膨らませる。 ○聞く時の約束をして、注意して聞けるようにする。

4 単元の目標

児童	単元の目標
A児	○友達の話聞き、話題に沿って話し合えることができる。 (話すこと・聞くことオ) ○「ことばあそびうた」を読み合い、よいところを見つけて感想を言うことができる。 (書くことオ)
B児	○姿勢や口形、声の大きさに注意して発表することができる。 (話すこと・聞くことウ) ○学習してきたことを思い出し、ものと音を組み合わせ、ことばあそびうたを作ることができる。 (書くことア)
C児	○声の大きさや、はっきりした発音で発表することができる。 (話すこと・聞くことウ) ○学習してきたことを思い出し、ものの形や音と結び付けて「ことばあそびうた」を作ることができる。 (書くことア)
D児	○友達の話聞き、話題に沿って話し合えることができる。 (話すこと・聞くことオ) ○「ことばあそびうた」を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合えることができる。 (書くことオ)
E児	○友達の話聞き、話題に沿って話し合えることができる。 (話すこと・聞くことオ) ○「ことばあそびうた」を読み合い、よいところを見つけて感想を伝えることができる。 (書くことオ)

5 単元の評価規準

児童	関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力
A児	○進んで「ことばあそびうた」を作ろうとしている。	○作品に理由を付けて発表したり，友達に感想を伝えたりしている。 (話す・聞く) ○自分の経験をもとに，イメージに合った言葉をさがして「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
B児	○「ことばあそびうた」を楽しんでいる。	○友達に聞こえる声で発表し，友達の発表をしっかりと聞いている。 (話す・聞く) ○好きなものと音を結び付けて「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
C児	○ものと合う言葉を探している。	○はっきりした声で発表し，友達の発表をしっかりと聞いている。 (話す・聞く) ○知っているものから形や音を想像して「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
D児	○流れを理解し，「ことばあそびうた」を進んで作ろうとしている。	○自分の作品に理由を付けて発表したり，友達に感想を伝えたりしている。 (話す・聞く) ○経験したことや情報をもとに，イメージに合った言葉を探して「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)
E児	○興味をもって「ことばあそびうた」を作ろうとしている。	○作品に理由を付けて発表したり，友達に感想を伝えたりしている。 (話す・聞く) ○経験したことや想像したことをもとに，「ことばあそびうた」を作っている。 (書く)

6 単元の指導計画（全8時間扱い）

時	学習活動	評価の観点				
		関	話	書	読	評価規準（評価方法）
1	○学習の見通しを立てる。 ・既習の「あひるのあくび」や、自分達が作った言葉遊び歌や知っている言葉遊び歌を出し合ったり、音読したりする。	○				・言葉遊び歌を音読して、言葉遊びの面白さや楽しさを感じながら、進んで活動しようとしている。（発言、行動観察）
2	○教科書の「たべもののことばあそびうた」を読んで面白さを知る。 ・「たべもののうた」を書いた紙を掲示し、当てはまる言葉を考える。 ・自分達も作って発表することを知る。 ・振り返りカードを書く。			◎		・「たべもののことばあそびうた」に出てくる食べ物を、自分のイメージで表現している。 ○ ・自分達と教科書の表現の違い・面白さに気付き、表現読みを楽しんでいる。 (ワークシート、発言、行動観察)
3 4 5 6	○自分のイメージを発表したり、友達の考えを聞いたりする。 ・ どうぶつ のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ のりもの のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ がっき のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ おもちゃ のイメージと他のもののイメージを結びつけて考える。 ・ 振り返りカードを書く。【本時4/4】			◎	○	・提示された題材に、自分がイメージする擬声語や擬態語を音声化したり言語化したりしている。 ・自分が考えた言葉のイメージを、理由を付けて友達に発表している。 ・同じイメージで他のものをさがしている。 (ワークシート、発言、行動観察)
7	○音や様子を表す言葉を集めて、自分の好きな「ことばあそびうた」を作る。 ・たべもの ・どうぶつ ・のりもの ・がっき ・おもちゃ など ・発表し合って、友達の作品の良いところを見つける。 ・振り返りカードを書く。			◎	○	・今まで学習したイメージをもとに、擬声語や擬態語を集めて、自分だけの「ことばあそびうた」をつくっている。 ・作った「ことばあそびうた」を読みあい、友達の良いところを見つけようとしている。 (ワークシート、発言、行動観察)
8	○作った「ことばあそびうた」の読み方を工夫する。				○	・相手を意識して、声の大きさや早さなどを考えている。 (発言、行動観察)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

A児	<ul style="list-style-type: none">・テーマについて、自分の経験をもとに考えた言葉のイメージを、理由を付けてみんなに発表することができる。・友達の質問に対して、自分のイメージしたものをヒントマットからさがし、理由も考えることができる。
B児	<ul style="list-style-type: none">・ヒントカードをもとに、実物に触った感じをイメージして、友達に聞こえるように大きな声で発表することができる。・友達の発表を聞いて、自分のイメージしたものをヒントマットからさがすことができる。
C児	<ul style="list-style-type: none">・実物を見たり触ったりした感じをイメージし、友達に聞こえるような声で発表することができる。・友達の発表を聞いて、自分のイメージしたものをヒントマットからさがすことができる。
D児	<ul style="list-style-type: none">・経験や情報をもと自分が作った言葉のイメージを、理由を付けて説明することができる。・友達の発表を聞いて、自分のイメージした言葉をヒントマットからさがし、理由も考えることができる。
E児	<ul style="list-style-type: none">・テーマについて、自分で想像して作った言葉のイメージを、理由を付けてみんなに発表することができる。・友達の発表を聞いて、自分のイメージした言葉をヒントマットからさがし、理由も考えることができる。

(2) 準備物

- ・ヒントカード
- ・今まで学習してきた物
- ・ワークシート
- ・話型カード
- ・模造紙
- ・マジック
- ・ふりかえりカード
- ・ヒントマット (大・小)

(3) 本時の学習展開

学 習 活 動	◇指導上の留意点 ☆支援	◎評価 (評価方法)					○主な発問や指示 ・予想される児童の反応				
		全 体		A児	B児	C児	D児	E児			
1 前時までの復習をする。	<p>○「ことばあそびうた」を作る時には、どんな音を言葉にしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[聞こえた音] ・[見た様子] ・[触った感じ] ・[したこと] の音を言葉にした <p>◇机上には何も出させない。</p> <p>◇ヒントカードで確認する。</p> <p>○今まで、どんなものでイメージ集めをしましたか。</p> <p>☆今まで学習したものを掲示しておく。</p>										
2 本時のめあてを確認する。	<p>○今日勉強するのは「おもちゃ」です。</p> <p>◇単元のめあては貼っておき、今日学習するテーマを知らせる。</p> <p>◇前時と同じ流れで学習させる。</p>	<p>じぶんのイメージをはっぴょうしよう。</p> <p>—きょうのテーマは おもちゃ —</p>									
3 ことばのイメージ集めをする。	<p>○これは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼリー ・プリン ・スライム <p>☆実物を出して見せる。</p> <p>◇発表する時は手を挙げることを確認する。</p> <p>○これからスライムのイメージ集めをします。</p> <p>①筆記用具の準備をさせる。</p> <p>②ワークシートとスライムを取りに来させる。</p> <p>◇触っている時、イメージが浮かんだらすぐ書いておくことを知らせる。</p> <p>☆イメージをもちやすいように、自由に触らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぷよぷよ ・ぐにゃぐにゃ ・おもちゃみたい ・ふにゃふにゃ ・気持ちいい(悪い) ・おもしろい <p>③スライムで遊ばせて、ワークシートにイメージした言葉を書かせる。</p> <p>☆机間指導をして、自信をもって言えるようにする。</p> <p>☆発表が不安な児童は、話型を自分で取りに行き書かせておく。</p>	<p>☆具体物に触らせて、似たような経験を思い出させる。</p> <p>☆自信をもって発表することができるように肯定的評価をする。</p>	<p>☆具体物に触らせる。</p> <p>☆[ヒントカード]から選ばせる。</p> <p>☆気持ちを言葉に表すことができるように声かけをする。</p> <p>☆話型に言葉を書かせておく。</p>	<p>☆具体物に触らせて想像させる。</p> <p>☆[ヒントカード]から選ばせる。</p> <p>☆自信をもって発表することができるように肯定的評価をする。</p> <p>☆話型に言葉を書かせておく。</p>	<p>☆経験や知っている情報を結びつけることでイメージを膨らませる。</p> <p>☆発表する言葉を前もって選ばせる。</p>	<p>☆具体物を見たり触ったりしながら想像させる。</p> <p>☆自信を持って発表できるように肯定的評価をする。</p>					
4 発表する。	<p>○スライムのイメージを発表してもらいます。</p> <p>発表する時は、どうしてその言葉にしたか理由を付けて言ってください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぼくは、[]から()() スライム と考えました。</p> <p>みんなは()()の言葉で、どんなものをイメージしますか。</p> </div> <p>◇机を中央に寄せる。</p>	<p>☆恥ずかしくて声が小さい時は、声をかけたり励ましたりする。</p> <p>◎作った理由を、みんなに聞こえるような声で発表することができた。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>	<p>☆声が小さい時は、口を大きく開けて、おなかに力を入れて言うように促す。</p> <p>◎友達に聞こえるような声で話型を読むことができた。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>	<p>☆声を出せない時は、そばに行って一緒に読む。</p> <p>◎理由をみんなに聞こえる声で言うことができた。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>	<p>☆落ち着いて、友達に分かるようにゆっくり説明させる。</p> <p>◎理由を付けて、詳しく説明することができた。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>	<p>☆友達に分かるように順序立てて発表させる。</p> <p>◎作った理由を、みんなに聞こえるように発表することができた。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>					

<p>5 イメージを交流する。</p>	<p>◇前に出て発表させる。 (見た様子, さわった感じから) ぷよぷよ・ぐにやぐにや・ぷりんぷりん・つるんつるん (聞こえた音から) ペたんペたん (したことから) こねこね・ぷちんぷちん・ビョーンビョーン</p> <p>◇聞く姿勢について話す。</p> <p>○イメージを交流しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぼくがかんがえた () () のイメージにあうものをヒントマットからえらんでください。 理由が言える人は, 理由も言ってください。 じかんは2分です。 はじめてください。</p> </div> <p>◇ヒントマットをグループの机の上に置く。 ☆イメージ言葉もヒントマットの横に置く。 ◇ヒントマットを見て, 自分の考えをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>イメージを言ってください。 ○○くんどうぞ。</p> </div> <p>☆理由が言えない子は, ヒントマットを示すだけで良い。 ◇ヒントマットから選んだ言葉をみんなに広げ, 共通認識を図る。 ◇自分のイメージと比較しながら応答させる。</p>	<p>◎自分のイメージした言葉に合ったものをさがし, 理由も考えることができた。 (発言, 行動観察)</p> <p>(例) 初めて知ったことは ——です。</p> <p>(例) びっくりしたことは, ——でした。</p>	<p>☆友達の方に体を向けて発表を聞くよう声かけをする。</p> <p>◎自分のイメージした言葉に合ったものをさがすことができた。 (発言, 行動観察)</p> <p>(例) ぼくが選んだイメージマットは, ○○君と同じでした。</p>	<p>☆友達の発表を聞くよう声かけをする。</p> <p>◎自分のイメージした言葉に合ったものをさがすことができた。 (発言, 行動観察)</p> <p>(例) 初めて知ったことは, ——でした。</p>	<p>◎自分のイメージした言葉に合ったものをさがし, 理由も考えることができた。 (発言, 行動観察)</p> <p>(例) ○○君から教えてもらったことは, ——です。</p> <p>(例) 友達や家の人に教えてあげたいことは, ——です。</p>	<p>◎自分のイメージした言葉に合ったものをさがし, 理由も考えることができた。 (発言, 行動観察)</p> <p>(例) ヒントマットにはないけど, () () にもイメージが合うと思います。</p>
<p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○振り返りカードに, 今日の振り返りを書きましょう。 ☆自分で書けるような振り返りカードを準備する。</p>	<p>(例) びっくりしたことは, ——でした。</p>				
<p>7 次時の活動を知る。</p>	<p>◇今まで学習したイメージ言葉を使って, 自分の好きな「ことばあそびうた」を作ることを伝え, 意欲付けをする。</p>					

